

今週のモーニングセミナー報告

令和4年6月29日(水)の講話 <第898回>

テーマ：こけ枝の日々是笑日

講師：公益社団法人上方落語協会 桂 こけ枝 様

初代・桂文枝 師匠の弟子20人の内、17番目。落語家になって33年目、年齢はこう見えても55才。落語会の先輩たちは達者なんです、上方落語協会会長、人間国宝でもあった桂米朝師匠は6年前に亡くなりましたが、90歳まで自己管理能力が万全。虫歯が一本もありませんでした・・・総入れ歯でした。(笑) 小話を話される時の力を入れるポイントとオチをいう時の間合いは落語家のベテランらしく必殺の技を聞くようでした。山形大学の先生が笑いと免疫力について8年間考えた結果、よく笑う方達は、より健康で死亡率が低い。さらに小話を続けて、電車に乗っていた時に隣のおばちゃんが「ぷ～」とオナラをした、その後、そのおばちゃんが、隣のおっちゃんに「おなかの調子が悪いんですか～？」とおならの本人は私でないそぶり・・・するとそれに返して、おっちゃんが「すると何か！わしのおなかの調子が悪いとあんたのおならが出るんか～」と言いつつ。栗林動物園での見学者と象の飼育係の会話、「今何時ですか」すると飼育係は象のおなかの後ろの方に手を滑らせて金玉を持ち上げた～ 実はその向こうに小学校の掛け時計が見えるのであった話。自身の髪の毛の育毛剤の話、「気にせんでええことは、気にせんでええ～」宿屋での聞こえてきた話～信州のそばの話「みなごろし」「はんごろし」「手打ちにする」。「お母ちゃんパンツやぶれた」～またか」等たくさん聞いた小話、小話を交えながら、人生訓として自身の体験を語るように「気にせんでええことは、気にせんでええ～」と。また伝統芸能である落語の下手と上手の使い分け、登場する時は下手(向かって左から)話が上下転換する時の仕草、焼き芋を食べる時に仕草と音だけで演じるシーンの実演など。プロの落語家らしいお話とジェスチャーの連続、最後まで楽しませてもらいました。

担当者：赤山 芳隆

こうみえて55歳です、どう見えてんねん。要潤と小学校、中学校、高校と同じなのにこの差はなんだと笑いを取る。また母親と買い物をしていると夫婦に間違われた。医学部が発表した笑いは大切。病気からの免疫を上げることができる。昔は藤井フミヤに似ていると言われた時があったが、髪の毛がすくなくなっていった。気にせんでええことはけにせんでええとすべてを笑いに変えていく話、また焼き芋を食べる実演は沈黙もありながらの演技がなんともいえない空間でした。さすがだと思いました。私も今後の会長挨拶の笑いをとるのに磨きをかけようと思いました。香川県を代表するスターが東かがわ市倫理法人会まで来ていただきありがとうございました。

会長：松浦 清貴

連絡事項

※次回のモーニングセミナーは7月6日(水)朝6:00～7:00南新町自治会館にて経営者モーニングセミナーをします。「倫理入会のきっかけ」と題しまして香川県高松三木倫理法人会 事務長 ヘルシースポット 心明 太田友子 様の講話を予定しております。次回も是非ご参加ください。

出席社数 21社 21名

香川県東かがわ市倫理法人会 TEL (0879) 26-9000/FAX (0879) 26-9001
メールアドレス rinri-hk@ma.pikara.ne.jp